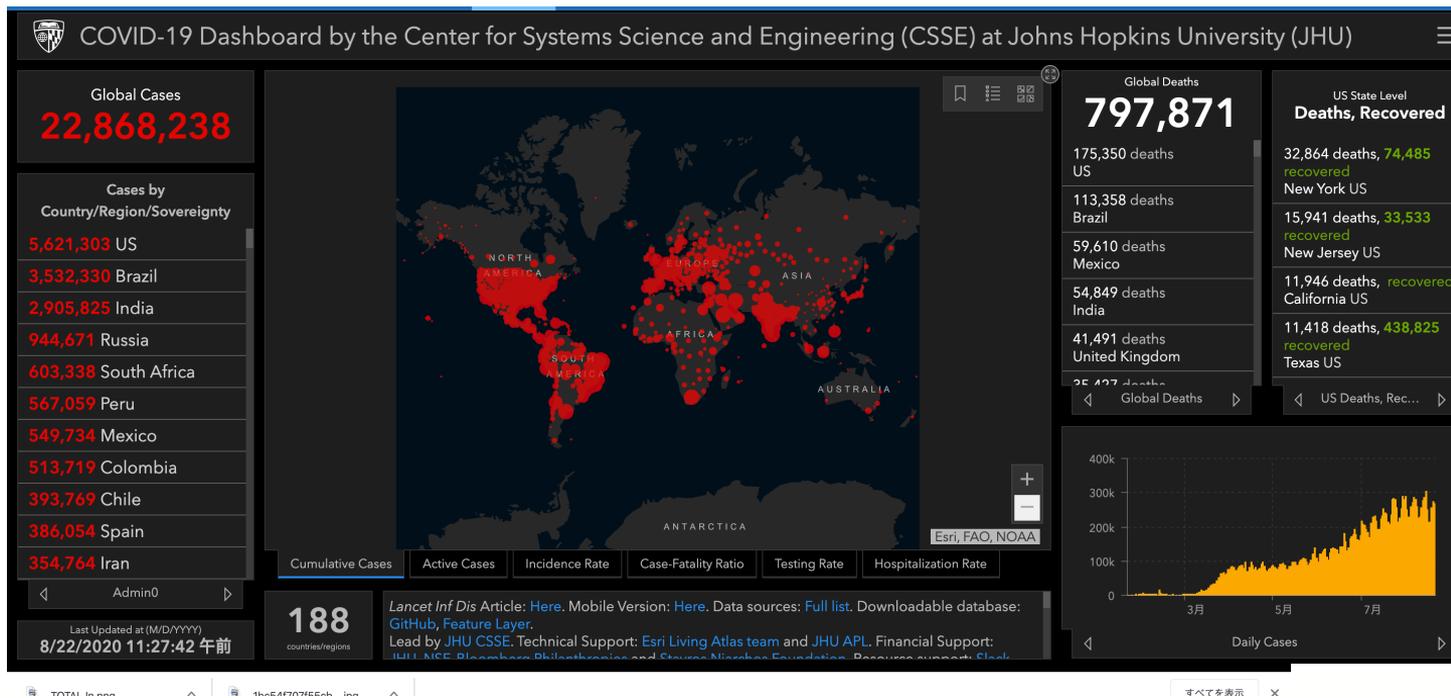


COVID-19 と日本のネットワーク

Shishio Tsuchiya

shtsuchi@arista.com

COVID19とは



<https://coronavirus.jhu.edu/map.html>

- 新型コロナウイルス感染症の事 WHOが2020/2/11にCOVID-19と命名
- 症状のないものから重症の肺炎/死亡まで幅広い

COVID19対策による生活環境の変化

特別企画

新型コロナウイルスが世界的大流行——、テレワーク・在宅勤務の在り方を真剣に考える

テレワークのノウハウ集や助成金制度を紹介、期間限定無償版のリンク集なども

森田 秀一 2020年3月19日 06:00

<https://cloud.watch.impress.co.jp/docs/special/1241683.html>

全国の小中高 臨時休校要請へ 来月2日～春休みまで 首相

2020年2月28日 0時57分

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200227/k10012304751000.html>



考えた事

- インターネットトラフィックの変化
- 日本企業のVPNのあり方
- ビックデータの扱い



日本のトラフィックトレンドはどのように変わったのか？

COVID-19とトラフィック傾向

概要

インターネットは利用者の利用形態により大きく変動します。

今回はCOVID-19による行動変化がインターネットトラフィックにどの様に影響したかを分析して皆さんと共有、議論し、今後のネットワーク設計への知見としたいと考えています。

発表者

松崎 吉伸(株式会社インターネットイニシアティブ)

公開資料

[公開資料-松崎 吉伸](#)

COVID-19インターネット最前線と日本の通信事業者連携

概要

世界的猛威を振るっているCOVID-19は、人々の生活を抑制し、社会環境を大きくかえている。それに伴い、日本や世界のインターネットトラフィックは過去観測したことのないレベルで変化し、各通信事業者においては、日々のトラフィック変化を注視しながら運用対処にあっている。

今回の発表では、ISP、CSP、CDN等の様々な事業者の立場で、COVID-19に伴うインターネットトラフィックの変化と対応について、赤裸々に語ると共に、今後必要な対策や通信事業者連携の可能性について、皆様と共有議論したい。

なお、本発表は、100年に一度ともいわれるパンデミックの事案を扱う内容であり、インターネットトラフィックの変化状況を様々な事業者の観点で把握し、それをタイムリーに共有することは非常に重要であると考えている。また、今後のインターネットの協調運用において、より多くの事業者を巻き込んだ活動が必要であるため、その目的を達成するために組織した協議会について、官民連携も含め、その取り組みをJANOGのみなさまと共有したい。

発表者

吉田 友哉(NTTコミュニケーションズ株式会社)

大江 慧知(総務省総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課)

小野 真由美(アカマイ・テクノロジーズ合同会社)

黒川 章登(Netfix株式会社)

南 雄一(ビッグロープ株式会社)

山口 肇征(東日本電信電話株式会社)

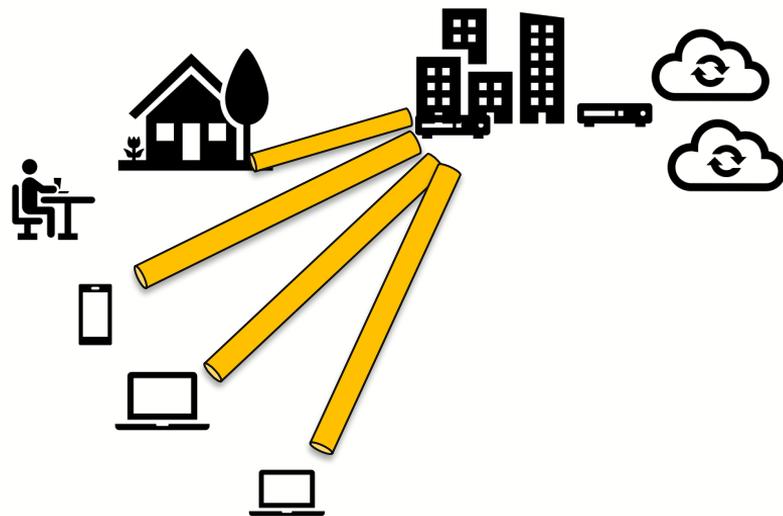
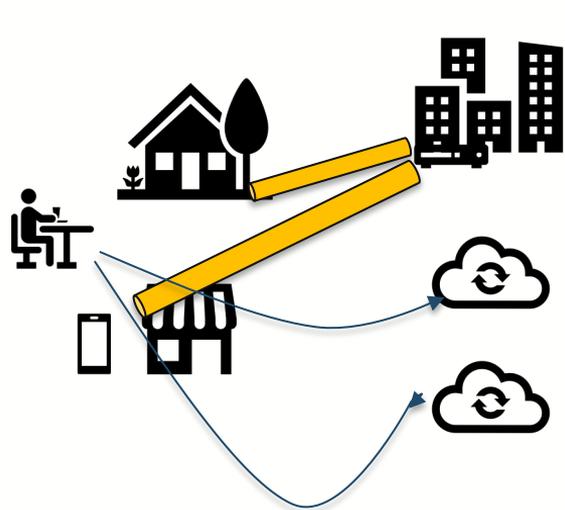
會田 英孝(ソフトバンク株式会社)

高澤 信宏(ヤフー株式会社)

<https://www.janog.gr.jp/meeting/janog46/cvdm/>

<https://www.janog.gr.jp/meeting/janog46/cvdy/>

企業の対策は



- 日本企業はスプリットトンネルやローカルブレイクアウトは苦手？
- VPNセッション数など想定以上の対策が必要になるか？

東京都 新型コロナウイルス感染症対策サイト

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>



- 東京都は3月4日新型コロナウイルス感染症対策サイトをオープンこれらのサイトはCode for Japanの有志により作成されオープンソースとして開発された
- <https://github.com/tokyo-metropolitan-gov/covid19>

登壇者のご紹介

- 土屋 師子生(アристаネットワークスジャパン合同会社)
- 岩崎 磨(株式会社LIXIL)
- 平井 則輔(東京都戦略政策情報推進本部)



Thank You

www.arista.com